

2017年3月吉日
公益財団法人 日本対がん協会
会長 垣添忠生
リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越実行委員会
実行委員長 廣瀬哲也

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017川越

開催趣意書

公益財団法人日本対がん協会とリレー・フォー・ライフ・ジャパン川越実行委員会では、がんを患った方々と家族・友人・支援者、そして沢山の市民が一堂に会し、一緒にフィールドを語りあいながら歩いたり、楽しんだりしながら、がん征圧の大切さを社会に訴える『リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017川越』の催しを開催いたします。

リレー・フォー・ライフとは、1985年、一人の医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会へ寄付を募りました。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこの活動を代表するイベントは、2015年は世界25カ国、6,000カ所で開催され、年間寄付は470億円にのぼります。2016年、日本では49ヶ所で開催されました。

リレーに参加することによって「がん」に対する知識の普及・啓発はもとより、がん患者とともに「連帯感と勇気」が実感できる催しとして、医療関係者のみならず一般の人々が自由に参加できる魅力的な展開をめざしていきます。

尚、2016年に全国で開催されたリレー・フォー・ライフには全国で8万1千人余りの方々に参加いただき、寄付金は総額で1億4千万円になりました。この寄付金は日本対がん協会を通じて、がん患者支援・がん医療の発展・検診の啓発(プロジェクト未来、がん悩み相談、若手医師育成、がん検診率アップ等)に役立てられています。

この「リレー・フォー・ライフ」を実施することで、永遠のテーマである「がん征圧」へ向けて一層の進展を図りたいと考えております。

つきましては、「リレー・フォー・ライフ」の趣旨をご理解いただき、何卒ご賛同、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

